

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書  
【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項  
【提出先】 近畿財務局長  
【提出日】 平成25年11月14日  
【四半期会計期間】 第39期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）  
【会社名】 株式会社シャルレ  
【英訳名】 CHARLE CO., LTD.  
【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 奥平 和良  
【本店の所在の場所】 神戸市中央区港島中町七丁目7番1号  
【電話番号】 該当事項はありません。  
【事務連絡者氏名】 該当事項はありません。

（上記は登記上の本店所在地であり、実際の本社業務は下記において行っております。）

【最寄りの連絡場所】 神戸市須磨区弥栄台三丁目1番2号（本社）  
【電話番号】 078(792)8565  
【事務連絡者氏名】 経理部長 岩永 信幸  
【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第38期 第2四半期 連結累計期間	第39期 第2四半期 連結累計期間	第38期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高（百万円）	10,108	9,576	21,271
経常利益（百万円）	328	304	777
四半期（当期）純利益（百万円）	234	90	418
四半期包括利益又は包括利益（百万円）	375	114	721
純資産額（百万円）	19,465	19,350	19,811
総資産額（百万円）	24,383	23,415	23,868
1株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	12.26	4.73	21.84
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期） 純利益金額（円）	-	-	-
自己資本比率（％）	79.8	82.6	83.0
営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	272	549	273
投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	1,006	266	168
財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	575	596	576
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高 （百万円）	3,733	3,383	3,117

回次	第38期 第2四半期 連結会計期間	第39期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額（円）	7.13	0.01

- （注）1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社企業グループ（当社および当社の関係会社）は、平成25年8月29日開催の取締役会において、中国におけるレディースインナー等販売事業からの撤退を決議しております。

主要な関係会社における異動はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況  
1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクに重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社企業グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

##### 経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加や各種経済対策の効果に対する期待感などから、景気の緩やかな回復が見られました。一方、海外経済においては、中国の景気減速など、景気の下ぶれリスクが依然として懸念される状況にあります。

このような経営環境のもと、当社企業グループは「美と健康」の事業領域を中心に、人々の豊かさを追求する企業として、独自性のある商品の開発・提供、魅力的なサービスやビジネスシステムの提供を行うことで「美しく健康的な生活」を提案してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社企業グループの売上高は95億76百万円（前年同四半期比5.3%減）、営業利益は2億86百万円（同7.6%減）、経常利益は3億4百万円（同7.2%減）、四半期純利益は海外レディースインナー等販売事業からの撤退にともなう特別損失の発生等により90百万円（同61.5%減）となりました。

#### (国内レディースインナー等販売事業)

国内レディースインナー等販売事業におきましては、販売組織の再活性化と収益構造の改善を方針に掲げ、事業を行ってまいりました。従来どおり「美と健康のシャルレ」として、健康関連分野の商品や化粧品等、機能性が高く、かつ独自性のある商品の開発・提供をより一層強化するとともに、次世代を担うビジネスメンバーの育成や、新たなターゲット層への商品開発等にも積極的に取り組んでまいりました。

繊維系の商品におきましては、前期に引き続き、健康関連分野の商品の拡充を図りました。4月には、ウォーキング等の軽運動に適した商品として「サポートウォーク ウエア 2013春夏」、5月には、姿勢意識インナーに夏仕様のキャミソールタイプを、6月には、肩ストレッチインナーに半袖タイプを追加発売いたしました。また、健やかな睡眠をサポートする商品として、抗菌防臭加工を施したガーゼ素材等のタオルケットとシーツを発売したことにより、タオル類の売上が増加いたしました。

9月には、補整力と着用感に優れ、高級感のある華やかなデザインを特長とするファンデーション・インナーの「ドゥヴァンナシリーズ」が発売から15年になるのを機に、カラーやレースデザインをリニューアル発売し、売上が増加いたしました。一方、カットソーやパンツを中心とするアウターシリーズ「シャルレドレッセ」の販売が不振となった影響により、繊維系商品全体では売上が減少いたしました。

化粧品類につきましては、前期に発売いたしました基礎化粧品の「エタリテ ライン」を中心にエタリテシリーズの売上が好調で、前年実績を上回りました。また、6月には、ヘアケアシリーズの「シャルエーゼ」に「頭皮クリアクレンジング」を発売し、アイテムの拡充を図りました。一方、高価格帯の「エタリテ オーラマージュ シリーズ」の定番商品や限定セット商品の販売が不振となったことにより、化粧品全体では売上が減少いたしました。

営業施策面におきましては、4月に全代理店を対象とした「第30回シャルレ代理店セミナー」を実施し、中期経営方針や各種施策の共有化を図るとともに、代理店との一体感を醸成し、活動意欲の向上を図りました。販促面におきましては、化粧品類の販売活動を支援する新たなボーナス制度の導入を発表し、販促意欲を喚起いたしました。また、前期に引き続き新メイト育成キャンペーンを実施するとともに、ビジネスメイトの育成策として、ビジネス説明会等の会合への動員を強化してまいりました。さらに、シャルレの認知度向上を目的に、テレビコマシャルの放映を行ってまいりました。

このように、積極的な事業展開を行ってまいりましたが、国内レディースインナー等販売事業の売上高は95億17百万円（前年同四半期比3.1%減）となり、さらに在庫評価損が増加したこと等により、営業利益は3億57百万円（同29.1%減）となりました。

#### (海外レディースインナー等販売事業)

海外レディースインナー等販売事業におきましては、中国の百貨店での店舗販売を、上海の旗艦店を中心に行ってまいりました。

かねてからの課題であった収益性の改善に関して、不採算店舗の整理・撤退や、本部費用の削減を図った結果、海外レディースインナー等販売事業の売上高は58百万円（前年同期比10.7%減）、営業損失は28百万円（前年同期は37百万円の営業損失）となりました。

早期の事業黒字化を目指して取り組んでまいりましたが、百貨店での婦人下着業界の競争激化や、一部店舗での不買運動の影響により売上が低迷いたしました。その結果、収益の改善には至らず、事業の黒字化が見込めないことから、当社は平成25年8月29日開催の取締役会において、香羅奈（上海）国際貿易有限公司が運営する中国におけるレディースインナー等販売事業の撤退を決議しております。

#### 資産、負債および純資産の状況

総資産は、現金及び預金の減少2億35百万円、商品の増加1億94百万円、流動資産その他の減少2億35百万円等により、前連結会計年度末に比べ4億53百万円減少して234億15百万円となりました。

負債は、流動負債その他の増加1億53百万円、長期未払金の減少1億48百万円等により、前連結会計年度末に比べ7百万円増加して40億64百万円となりました。

純資産は、四半期純利益90百万円、利益配当金5億74百万円等により、前連結会計年度末と比較して4億60百万円減少し、193億50百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.0%から82.6%に下降しました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期連結累計期間に比べ3億50百万円減少し、33億83百万円となりました。

##### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、5億49百万円の増加(前年同四半期は2億72百万円の減少)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益1億26百万円、減価償却費及びその他の償却費2億13百万円、たな卸資産の増加額3億円、前受金の増加額1億24百万円であります。

##### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億66百万円の増加(同10億6百万円の増加)となりました。主な要因は、定期預金の減少5億円、無形固定資産の取得による支出2億円であります。

##### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億96百万円の減少(同5億75百万円の減少)となりました。主な要因は、配当金の支払額5億61百万円であります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社企業グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、56百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社企業グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	84,000,000
計	84,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	21,034,950	21,034,950	東京証券取引所 市場第二部	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株 式であり、単元株式数は100 株であります。
計	21,034,950	21,034,950	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	21,034	-	3,600	-	4,897

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(有)G & L	兵庫県西宮市鷲林寺南町6番6号	3,802	18.08
(株)シャルレ	神戸市中央区港島中町七丁目7番1号	1,869	8.89
(有)L a m ' s	兵庫県西宮市高座町13番6号	1,581	7.52
林 雅晴	兵庫県西宮市	1,508	7.17
林 宏子	兵庫県西宮市	1,037	4.93
林 勝哉	兵庫県芦屋市	957	4.55
瀬崎 五葉	東京都渋谷区	954	4.54
林 達哉	兵庫県西宮市	954	4.54
林 トミエ	神戸市垂水区	473	2.25
林 達三	神戸市垂水区	397	1.89
計	-	13,536	64.36

(注) (株)シャルレ(自己株式)は、会社法第308条第2項の規定により、議決権を有しておりません。なお、当該自己株式のうち、1,316千株は今後の事業展開に備えて機動的な財務運営を行うことを目的に保有しているものであり、553千株はストックオプションの終了にともなう株式譲渡請求権の失効および単元未満株式の買取りにより保有しているものであります。

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,869,100	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,155,500	191,555	同上
単元未満株式	普通株式 10,350	-	同上
発行済株式総数	21,034,950	-	-
総株主の議決権	-	191,555	-

(注)「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義失念株式100株が含まれております。  
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式にかかる議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株)シャルレ	神戸市中央区港島中町 七丁目7番1号	1,869,100	-	1,869,100	8.89
計	-	1,869,100	-	1,869,100	8.89

2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）および第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、大阪監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,908	7,672
売掛金	133	109
有価証券	2,409	2,410
商品	4,750	4,944
貯蔵品	34	27
繰延税金資産	486	486
その他	457	221
貸倒引当金	13	17
流動資産合計	16,166	15,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,324	1,293
土地	907	907
その他(純額)	528	461
有形固定資産合計	2,760	2,662
無形固定資産		
その他	756	807
無形固定資産合計	756	807
投資その他の資産		
投資有価証券	2,495	2,469
前払年金費用	717	695
繰延税金資産	427	427
その他	558	509
貸倒引当金	11	12
投資その他の資産合計	4,185	4,089
固定資産合計	7,702	7,560
資産合計	23,868	23,415

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,062	1,095
未払金	1,424	1,372
未払法人税等	30	53
賞与引当金	185	226
事業整理損失引当金	-	29
その他	226	379
流動負債合計	2,929	3,157
固定負債		
売上割戻引当金	214	213
退職給付引当金	470	437
長期未払金	208	60
その他	234	195
固定負債合計	1,127	906
負債合計	4,057	4,064
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	12,789	12,305
自己株式	1,295	1,295
株主資本合計	19,992	19,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133	155
為替換算調整勘定	47	1
その他の包括利益累計額合計	180	156
純資産合計	19,811	19,350
負債純資産合計	23,868	23,415

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	10,108	9,576
売上原価	5,222	5,110
売上総利益	4,886	4,466
販売費及び一般管理費	4,575	4,179
営業利益	310	286
営業外収益		
受取利息	15	12
受取配当金	0	0
雑収入	11	10
営業外収益合計	27	23
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	1	-
社宅解約損	1	1
持分法による投資損失	4	-
雑損失	0	2
営業外費用合計	9	5
経常利益	328	304
特別損失		
固定資産除却損	4	0
投資有価証券評価損	0	-
関係会社出資金売却損	57	-
事業整理損	-	127
事業整理損失引当金繰入額	-	29
店舗閉鎖損失	-	21
特別損失合計	62	178
税金等調整前四半期純利益	265	126
法人税、住民税及び事業税	30	35
法人税等合計	30	35
少数株主損益調整前四半期純利益	234	90
四半期純利益	234	90

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	234	90
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134	22
為替換算調整勘定	4	45
持分法適用会社に対する持分相当額	0	-
その他の包括利益合計	140	23
四半期包括利益	375	114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	375	114
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	265	126
減価償却費及びその他の償却費	201	213
受取利息及び受取配当金	15	12
固定資産除却損	4	0
関係会社出資金売却損益(は益)	57	-
事業整理損失	-	127
事業整理損失引当金繰入額	-	29
店舗閉鎖損失	-	21
売上債権の増減額(は増加)	61	23
たな卸資産の増減額(は増加)	962	300
前払年金費用の増減額(は増加)	56	21
仕入債務の増減額(は減少)	810	33
未払金の増減額(は減少)	521	140
前受金の増減額(は減少)	1	124
未払消費税等の増減額(は減少)	0	22
退職給付引当金の増減額(は減少)	13	32
その他	91	306
小計	273	562
利息及び配当金の受取額	16	14
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	14	14
その他	1	12
営業活動によるキャッシュ・フロー	272	549
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(は増加)	1,200	500
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2	3
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	3	-
有形固定資産の取得による支出	126	29
無形固定資産の取得による支出	119	200
関係会社出資金の売却による収入	78	-
その他	24	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,006	266
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	574	561
リース債務の返済による支出	-	34
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	575	596
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	45
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	164	265
現金及び現金同等物の期首残高	3,569	3,117
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,733	3,383

【注記事項】

(追加情報)

(事業整理損失引当金)

中国におけるレディースインナー等販売事業からの撤退に伴う損失に備えるため、当第2四半期連結会計期間末における損失見込額29百万円を計上しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給与及び手当	1,067百万円	995百万円
販売促進費	942	993
賞与引当金繰入額	342	226
退職給付費用	142	94

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	7,624百万円	7,672百万円
有価証券勘定	2,409	2,410
預入期間が3か月を超える定期預金	6,300	6,700
現金及び現金同等物	3,733	3,383

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	574	30	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	574	30	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内レディース スインナー等 販売事業	海外レディース スインナー等 販売事業	LED照明 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,824	65	218	10,108	-	10,108
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	17	-	-	17	17	-
計	9,842	65	218	10,126	17	10,108
セグメント利益又は 損失( )	504	37	69	397	87	310

(注)1 セグメント利益又は損失( )の調整額には各報告セグメントに配分していない全社費用87百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。



当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内レディース インナー等販売 事業	海外レディース インナー等販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,517	58	9,576	-	9,576
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	-	1	1	-
計	9,518	58	9,577	1	9,576
セグメント利益又は 損失( )	357	28	328	41	286

(注) 1 セグメント利益又は損失( )の調整額には各報告セグメントに配分していない全社費用41百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメント「LED照明販売事業」を廃止しております。

これは、LED照明販売事業を営む株式会社シャルレイテックを平成24年12月3日付で外部に譲渡したことによるものであります。

これにより、第1四半期連結会計期間より「国内レディースインナー等販売事業」、「海外レディースインナー等販売事業」の2つを報告セグメントとしております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

海外レディースインナー等販売事業において、中国における同事業の事業構造改革の一環で閉鎖を決定した店舗設備の減損損失9百万円を店舗閉鎖損失として特別損失に含めております。また、中国における同事業からの撤退の意思決定にともない、減損損失14百万円を事業整理損として特別損失に含めております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において23百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	12.26円	4.73円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	234	90
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	234	90
普通株式の期中平均株式数(千株)	19,166	19,165

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月6日\_\_

株式会社シャルレ

取締役会 御中

大阪監査法人

代表社員 公認会計士 洲崎篤史 印  
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 木下隆志 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社シャルレの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社シャルレ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。